

## 2 植物の育ち方①たねまき (指導時期 4～5月・6時間)

★：その学年で特に育成を目指すべき問題解決の力を意識した内容です。

◆：その時間で学習する活動内容です。

単元の目標

植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

●植物の育ち方には一定の順序があること。また、その体は根、茎及び葉からできていること。

●植物の育ち方について追究する中で、差異点や共通点を基に、植物の成長のきまりについての問題を見だし、表現すること。

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 たねまき	1	○いろいろな植物の種を見て、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	【思・判・表】 植物の育ち方について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	2		
	3	○2つの植物の子葉を比べて、気付いたことを話し合い、問題を見つける。	【態度】 身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	4	○植物の育ち方を比べながら調べる。 ◆ かんさつ1	【知・技】 子葉が出た後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉

2葉・くき・根	5 6	<p>○植物の体を見て気付いたことを話し合う。</p> <p>◆問題を見つけよう</p> <p>○育ててきた植物の体のつくりを比べながら調べる。</p> <p>◆かんさつ2</p>	<p><b>【思・判・表】</b></p> <p>植物の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。</p> <p>〈発言分析・記述分析〉</p> <hr/> <p><b>【知・技】</b></p> <p>植物の体は根、茎及び葉からできていることを理解している。</p> <p>〈発言分析・記述分析〉</p>
---------	--------	--	---

**【準備物】**

種（ヒマワリ、ホウセンカ、オクラ、ダイズなど）、虫眼鏡、ものさし、観察カード、予想カード、色鉛筆、クリップ付きボード、スコープ（大型）、移植ごて、作業用手袋、肥料、じょうろ、園芸ラベル、園芸図鑑、牛乳パック、土、油性ペン、紙テープ（2色）、はさみ、模造紙、[タブレット]、バット